

下垂体疾患

■下垂体前葉から分泌される成長ホルモンが過剰に分泌すると、（ ））、成長期では（ ）、分泌不全では成人では（ ）、成長期では（ ）がおこる。

■下垂体前葉から分泌される副腎皮質刺激ホルモンの過剰分泌によって、（ ）がおこる。（ ）によるものが多い。クッシング症候群と同様の症状を呈する。

■下垂体後葉から分泌される抗利尿ホルモン(バソプレシン)の分泌低下によって（ ）となり、多尿、多飲となる。

甲状腺疾患

■（ ）は、女性に多い甲状腺機能亢進症である。（ ）、（ ）、（ ）、易疲労性、動悸、手指振戦、発汗過多、微熱、体重減少、食欲亢進、収縮期高血圧、イライラなどがおこる。

■男性のバセドウ病では、（ ）を合併することがある。

■（ ）は新生児にみられる甲状腺機能低下症で、低身長、（ ）などの発育不全を示す。

■成人の甲状腺機能低下症として、（ ）、重症になると（ ）がみられる。全身の代謝機能障害のため、寒がり、発汗減少、皮膚乾燥、粘液水腫様顔貌、便秘、脱毛、嚔声、月経過多、精神活動の低下などがおこる。

副甲状腺(上皮小体)疾患

■パラソルモンの分泌亢進に亢進症よって、血中カルシウム濃度が上昇し尿路結石や、骨吸収促進による（ ）がおこる。

■副甲状腺機能低下症では、（ ）血症によって四肢の異常知覚や、痙攣、助産婦手位を呈する（ ）が生じる。

副腎皮質疾患

■副腎皮質ホルモンの過剰分泌による（ ）では、高血圧、高血糖、中心性肥満、満月様顔貌、筋力低下、骨粗鬆症、無月経、インポテンツ、精神症状(抑うつ)、低カリウム血症などがおこる。

■（ ）は、慢性の副腎皮質機能低下症で、色素沈着、低血圧、低血糖、疲労感、体重減少、食欲不振、低ナトリウム血症、高カリウム血症などがおこる。

■原発性アルドステロン症では、ナトリウムの体内貯留が増加し、（ ）となる。低カリウム血症、アルカローシスや筋力低下、周期性四肢麻痺、テタニー、知覚異常がおこる。

副腎髄質疾患

■（ ）は、副腎髄質細胞等から発生する良性腫瘍である。アドレナリン、ノルアドレナリンの過剰分泌による高血圧、頭痛、動悸、発汗、高血糖、蛋白尿がおこる。

ホルモン	分泌亢進	分泌低下
成長ホルモン		
副腎皮質刺激ホルモン		
抗利尿ホルモン（バソプレシン）		
甲状腺ホルモン		
パラソルモン		
副腎皮質ホルモン (糖質コルチコイド)		
アルドステロン		
副腎髄質ホルモン		
インスリン		

下垂体疾患

■下垂体前葉から分泌される成長ホルモンが過剰に分泌すると、（ **末端肥大症** ）、成長期では（ **巨人症** ）、分泌不全では成人では（ **シモンズ病** ）、成長期では（ **小人症** ）がおこる。

■下垂体前葉から分泌される副腎皮質刺激ホルモンの過剰分泌によって、（ **クッシング病** ）がおこる。（ **下垂体腺腫** ）によるものが多い。クッシング症候群と同様の症状を呈する。

■下垂体後葉から分泌される抗利尿ホルモン(バソプレシン)の分泌低下によって（ **尿崩症** ）となり、多尿、多飲となる。

甲状腺疾患

■（ **バセドウ病** ）は、女性に多い甲状腺機能亢進症である。（ **甲状腺腫** ）、（ **眼球突出** ）、（ **頻脈** ）、易疲労性、動悸、手指振戦、発汗過多、微熱、体重減少、食欲亢進、収縮期高血圧、イライラなどがおこる。

■男性のバセドウ病では、（ **周期性四肢麻痺** ）を合併することがある。

■（ **クレチン病** ）は新生児にみられる甲状腺機能低下症で、低身長、（ **知能低下** ）などの発育不全を示す。

■成人の甲状腺機能低下症として、（ **橋本病** ）、重症になると（ **粘液水腫** ）がみられる。全身の代謝機能障害のため、寒がり、発汗減少、皮膚乾燥、粘液水腫様顔貌、便秘、脱毛、嚔声、月経過多、精神活動の低下などがおこる。

副甲状腺(上皮小体)疾患

■パラソルモンの分泌亢進に亢進症よって、血中カルシウム濃度が上昇し尿路結石や、骨吸収促進による（ **骨粗鬆症** ）がおこる。

■副甲状腺機能低下症では、（ **低カルシウム** ）血症によって四肢の異常知覚や、痙攣、助産婦手位を呈する（ **テタニー** ）が生じる。

副腎皮質疾患

■副腎皮質ホルモンの過剰分泌による（ **クッシング症候群** ）では、高血圧、高血糖、中心性肥満、満月様顔貌、筋力低下、骨粗鬆症、無月経、インポテンツ、精神症状(抑うつ)、低カリウム血症などがおこる。

■（ **アジソン病** ）は、慢性の副腎皮質機能低下症で、色素沈着、低血圧、低血糖、疲労感、体重減少、食欲不振、低ナトリウム血症、高カリウム血症などがおこる。

■原発性アルドステロン症では、ナトリウムの体内貯留が増加し、（ **高血圧** ）となる。低カリウム血症、アルカローシスや筋力低下、周期性四肢麻痺、テタニー、知覚異常がおこる。

副腎髄質疾患

■（**褐色細胞腫**）は、副腎髄質細胞等から発生する良性腫瘍である。アドレナリン、ノルアドレナリンの過剰分泌による高血圧、頭痛、動悸、発汗、高血糖、蛋白尿がおこる。

ホルモン	分泌亢進	分泌低下
成長ホルモン	巨人症、末端肥大症	小人症（小児） シモンズ病（成人）
副腎皮質刺激ホルモン	クッシング病（下垂体腺腫）	—
抗利尿ホルモン（バソプレシン）	—	尿崩症
甲状腺ホルモン	バセドウ病	クレチン病（小児） 橋本病→粘液水腫（成人）
パラソルモン	骨粗鬆症、尿路結石	低Ca血症、テタニー
副腎皮質ホルモン （糖質コルチコイド）	クッシング症候群	アジソン病
アルドステロン	高血圧	—
副腎髄質ホルモン	褐色細胞腫	—
インスリン	—	糖尿病